

全国高校生体験活動顕彰制度事業

「地域探究プログラム オリエンテーション合宿 in 赤城」

1. 趣旨

宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和2年8月1日（土）～2日（日）

(2) 参加者

前橋市立前橋高校生徒14名（男子4名、女子10名）

3. 企画運営のポイント

①オリエンテーション合宿の課題を「赤城山観光プランをつくる」に設定することで、前橋市立前橋高校の「総合的な探究の時間」の教育課程と関連させ、本合宿の成果を学校で生かすことができるようにする。

②探究のプロセスごとに、指導計画とワークシートを作成することで、活動の目的や達成目標を明確にする。

③赤城山大沼周辺でのフィールドワークにおいて、前橋市地域おこし協力隊員を中心にたくさんの協力をもとに、充実した体験活動ができるようにする。

4. 日程

	午前	午後	夜
8月1日 (土)	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」 講師：関 洋明氏 (前橋市地域おこし協力隊) 鈴木 雄祐氏 (前橋市地域おこし協力隊)	講義・演習① 「地域理解」	講義・演習② 「課題解決の基礎」
8月2日 (日)	フィールドワーク② 「地域課題の探究」 講師：関 洋明氏 (前橋市地域おこし協力隊) 鈴木 雄祐氏 (前橋市地域おこし協力隊) 講義・演習③ 「地域課題の探求」	講義・演習③ 「地域課題の探求」 発表	

5. 主な活動内容



フィールドワーク①「地域の魅力を発見」



講義・演習①「地域理解」



講義・演習②「課題解決の基礎」



フィールドワーク②「地域課題の探究」



講義・演習③「地域課題の探究」



発表

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足14名(100%) やや満足0名 やや不満0名 不満0名

(2) 参加者の声

- ・ 覚満淵の自然や電動アシスト付スポーツ自転車で大沼の風景を感じることができ、すごく楽しかったです。また、商店街で話を聞き、リアルな問題について知ることができ、知識を深めることができました。
- ・ 自分が初めて知ったことや問題について整理し、次につなげる考えを作ることができました。
- ・ 班の仲間と楽しく話し合っ、これからの赤城観光の理想について考え、自分達の見解で問題点に考えることができました。
- ・ 実際にやってみようという構想や実現性を考え、楽しく活動できました。
- ・ 今までの意見をまとめ、伝えるように考えました。
- ・ ほかの班の意見もすばらしくて、2日間のまとめとして、とても充実していました。

(3) 成果

- ①参加者から「赤城について知ることができ、普段できない体験ができた。」や「とても良い経験でした。楽しかったです。」「今まであまりしたことのない体験ができた。」などの意見があることから、覚満淵での環境学習や自転車での大沼一周などを行ったフィールドワークが、赤城山観光プランを考えるための効果的な活動にすることができた。
- ②参加者から「話し合いで考えを広げることができたのが良かった。」や「今回学んだ発表の仕方や工夫の仕方などを次に活かしてがんばりたい。」などの意見があることから、各探究のプロセスごとに活動の目的を明確にし、ワークシートを作成したことは、情報の整理や分析、アイデア出しや発表方法を考えるための手段として有効であった。

(4) 課題

- 参加者から「少しスライドを作成する時間を長くして欲しかった。」などの意見があることから、アイデアを絞りながら赤城山観光プランとしてまとめていく活動とスライドを作成する活動のバランスを調整することで、発表練習とスライドを修正する活動をより長く設定していく必要がある。

担当：横山・塩原・反町